

佐賀駅周辺整備基本計画（案）に関するご意見と市の考え方

No.	ご意見（趣旨）	市の考え方
1	<p>○ 駅前の広大な敷地に公園を新たに整備しても、大きな経済効果は生まれず、街の発展・繁栄に寄与するとは思えない。</p> <p>○ 駅周辺の利便性を高めることが重要だ。都市活動の拠点となるビルを建設し、地元百貨店やシティホテル、国際会議場などを誘致すべきではないか。</p>	<p>○ 駅前広場は、現在の範囲（面積）の中で機能配置を見直し、人が滞留するための広場空間を確保する計画としています。</p> <p>○ 佐賀駅周辺において賑わいを生み出す都市機能の立地を促し、市域全体の活性化に繋げることが重要だと考えています。</p> <p>このため、旧西友駐車場敷地の一部を市が取得し、駅前という立地を活かして、民間資本による開発を誘導し、賑わいを創出したいと考えており、誘導方針について今後検討を進めることとしています。</p>
2	<p>○ 佐賀らしさの発現に当たっては、都会的な雰囲気ではなく、地域の魅力である「水と緑との共生」など温かい雰囲気を取り入れた空間をめざしてほしい。</p> <p>○ 新しい広場には、佐賀駅だとわかるモニュメントなど、情報発信を促す視点場の設定と仕掛けを準備してほしい。</p> <p>○ 送迎利用の混雑緩和のため、駅前広場の乗降場に加えて、南側の県道佐賀停車場線の沿道にも乗降場を検討してほしい。</p> <p>○ 駅周辺への自転車駐輪場の確保や、自転車用の南北自由通路の設定など、自転車の交通計画をしっかりと検討してほしい。</p> <p>○ 広場に愛着を持ち、自分たちの広場だと実感してもらうことが大切。広場の使い方等について、市民と一緒に検討したり、利用者への意見聴取を行ってほしい。</p>	<p>○ 基本計画において、「街をつつむのびやかさを感じ、豊かな佐賀暮らしを感じ取ることのできる、街の顔にふさわしい空間を創出」することを整備コンセプトに掲げています。今後、設計段階において、このコンセプトに基づき、デザインに関する検討を進める予定としています。</p> <p>○ 駅前広場のデザインに当たっては、SNSなど情報発信における視点場という点も含めて検討を行いたいと考えています。</p> <p>○ 現在の駅前広場の課題である送迎車とタクシーの輻輳による混雑緩和のため、乗降場や動線を分離する計画としています。</p> <p>送迎車乗降場については、南北とも現状よりも乗降可能台数を増やすとともに、乗降場から駐車場へスムーズに移動可能な配置へと見直すことにより、混雑緩和に繋がりたいと考えています。</p>

		<p>○ 「佐賀市自転車利用環境整備計画」に基づき、市内の自転車ネットワーク環境の整備を進めており、佐賀駅から北に伸びる市道三溝線については、自転車を歩道から分離するため、自転車レーンを新設する計画です。</p> <p>駅周辺の駐輪場については、需要や利用実態を踏まえながら、必要規模の確保に努めていきたいと考えています。</p> <p>○ 広場の使い方など、市民が意見を出し合い、めざす将来像を共有しながら、整備を進めることが重要だと考えています。</p> <p>今後の設計段階において、様々な議論の場を設けながら、整備内容の検討を進めていきます。</p>
3	<p>○自動運転モデル都市として、自動運転を核としたコンパクトシティ実現を目指してはどうか。</p> <p>佐賀駅周辺を自動運転のショールームとして、自動運転開発企業を誘致し、関連IT産業の集積を進めてはどうか。</p>	<p>○ 自動運転は、今後の交通政策において重要な位置を占めていく技術であると考えています。</p> <p>各地で進められている実証実験の状況などを踏まえながら、本市の街づくりにおける可能性を探っていききたいと考えています。</p>
4	<p>○他の県庁所在地のように、駅ビル型ショッピングセンターを整備してほしい。</p> <p>商品価格が手頃なテナントや、「佐賀ブランド」の専門店を入居させてほしい。</p> <p>維新博を模して明治維新を想起する建築物とすれば、地域の誇りにもなるのではないか。</p>	<p>○ 旧西友店舗敷地において、JAグループが、県内農産品などのPRをテーマとした店舗の出店を計画されています。こうした取組とも連携しながら、佐賀駅周辺の賑わい創出を進めたいと考えています。</p> <p>このため、旧西友駐車場敷地の一部を市が取得し、駅前という立地を活かして、民間資本による開発を誘導し、賑わいを創出したいと考えており、誘導方針について、今後検討を進めることとしています。</p>

5	<p>○駅前広場でマルシェや青空市を定期的に開催してほしい。</p> <p>○駅前広場の市民利用は、料金体系や申込フローを分かりやすくしてほしい。</p> <p>○ベンチやテーブルは、市産材を使用し、温かみのあるデザインにしてほしい。</p> <p>○北口駅前広場にも、遊具のある公園スペースを設けてほしい。駅前広場は、ユニバーサルデザインにしてほしい。</p> <p>○市内の観光案内や交通手段を記載した大きな地図がほしい。</p> <p>○県内の観光情報等を集約した情報ステーションを設置してほしい。</p> <p>○受動喫煙防止のため、喫煙所は完全隔離してほしい。</p> <p>○大型イベントに合わせた関連イベントや、親子体験ワークショップ、サガン鳥栖応援イベントを開催してほしい。</p>	<p>○駅前広場は、市民や駅利用者の居場所であるとともに、イベントなど個人・団体の主体的な活動を通じて、個々のライフスタイルを豊かにするような空間として整備したいと考えています。</p> <p>このため、質の高い空間づくりや、市民が利用しやすい仕組みづくり、分かりやすいサイン計画や案内表示、足を運びたくなるイベントや仕掛けの検討など、様々な視点を持ちながら、今後、設計を進めたいと考えています。</p> <p>○ユニバーサルデザインや受動喫煙防止など、利用者の視点に立って、整備内容の検討を進めていきます。</p>
6	<p>○人々が憩いの場と認識し、愛着を持つ街路空間を長い時間をかけて創ることにより、市民が誇れる都市空間を創っていく視点を明確にすべきだ。</p> <p>仙台市の樫通りのような緑豊かな街路の創出のためには、樹木種の選定と、剪定を減らして大きく育てる視点が重要。糞害を懸念する声もあるが、啓発を強化し街路空間への市民理解を求めるべきだ。</p>	<p>○街路樹は、都市景観の修景効果に加えて、運転者の視線誘導や、緑陰の日陰効果など、都市空間における重要な役割を担っているものと考えています。</p> <p>佐賀駅から北に伸びる市道三溝線の再整備に当たっては、地元検討会を立ち上げ、街路樹の取り扱いも含めて、様々な議論を通じて整備方針の検討を行ってきました。</p> <p>快適な街路空間の整備に向けて、引き続き地域と連携しながら検討を進めていく予定です。</p>
7	<p>○市県民の誇りとして語り継いでいくため、南口駅前広場に「佐賀七賢人の銅像」を建立してほしい。</p>	<p>○佐賀駅の南側は、佐賀城公園など佐賀の歴史・文化を代表するエリアに繋がっており、南口駅前広場には、街の風土・文化を象徴し、街の顔となる空間づくりが求められているものと考えています。</p> <p>今後の設計段階において、街へ繋がる象徴的なエントランス空間として、駅前広場のデザインの検討を進めていきます。</p>

<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来にわたり、大切に佐賀駅を利用してもらうため、学生や子供たちが整備に参加するイベントや仕掛けを検討してほしい。</li> <li>○佐賀の歴史や文化を感じさせるモニュメントや門を設置してほしい。</li> <li>○県道佐賀停車場線の中央分離帯の街路樹を移植し、南側から駅舎や駅前広場が見通せるようにしてほしい。</li> <li>○夜間の利用も想定し、駅前広場の照明は、十分な照度や、夜間も楽しめる工夫をしてほしい。</li> <li>○市やJ R九州、民間事業者などが密に連携し、一体感のある整備を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生や子供たちをはじめ市民が整備に参加する仕掛けづくりは、他都市の駅前広場でも多くの取組事例があります。今後、こうした仕掛けづくりについても、検討できればと考えています。</li> <li>○ 駅前広場において「佐賀らしさ」を感じてもらうための手法については、デザインや使用素材なども含めて、今後、設計段階において検討したいと考えています。</li> <li>○ 駅前広場の整備を通じて、中央大通り方面への空間的な連続性を向上させ、人の流れを街なか方面へと誘導したいと考えています。 県道佐賀停車場線に関しては、道路管理者である佐賀県との協議を行いたいと考えています。</li> <li>○ 今後の設計段階において、駅前広場の夜間利用も想定しながら検討を進めます。</li> <li>○ 旧西友店舗敷地の民間開発計画や、J R九州とも連携しながら整備を進めたいと考えています。 また、旧西友駐車場敷地の一部を市が取得し、駅前という立地を活かして、民間資本による開発を誘導し、賑わいを創出したいと考えており、誘導方針について、今後検討を進めることとしています。 駅南口を一体的に整備する視点を持ちながら、事業を進めていきます。</li> </ul>
----------	--	--

<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○休憩スペースがある大型書店を誘致してほしい。</li> <li>○県内の観光情報を網羅した観光案内所を設置してほしい。</li> <li>○舞台のある全天候型のイベント広場がほしい。</li> <li>○中央大通り沿いに像が設置された偉人を紹介するパネルを設置してほしい。</li> <li>○駅周辺に広い駐輪スペースを確保してほしい。旧西友店舗北側の路上駐輪機は通行の支障になるので移設してほしい。</li> <li>○駅前にもう少し座れる休憩スペースを確保してほしい。</li> <li>○地産地消の商品を取り扱うセレクトショップとカフェを設置してほしい。</li> <li>○中央大通りなど、歩行者、自転車、自動車それぞれが通行しやすく、安心できる道路整備をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧西友駐車場敷地の一部を市が取得し、駅前という立地を活かして、民間資本による開発を誘導し、賑わいを創出したと考えており、誘導方針について、今後検討を進めることとしています。 旧西友店舗敷地では、J Aグループが、県内農産品などのPRをテーマとした店舗の出店を計画されています。こうした取組とも連携しながら、佐賀駅周辺の賑わいに繋がるとともに、街の玄関口に求められる施設・機能立地を進めたいと考えています。</li> <li>○ 南口駅前広場には、人が待ち時間などを過ごすための滞留広場、イベント利用も可能な交流広場を整備する計画です。 また、観光情報や街なか方面への誘導など、誘導サインの整備も行いたいと考えています。</li> <li>○ 「佐賀市自転車利用環境整備計画」に基づき、市内の自転車ネットワーク環境の整備を進めており、佐賀駅から北に伸びる市道三溝線については、自転車を歩道から分離するため、自転車レーンを新設する計画です。 また、駅から南に伸びる県道佐賀停車場線に関しては、道路管理者である佐賀県との協議を行いたいと考えています。</li> <li>○ 駅周辺の駐輪場については、需要や利用実態を踏まえながら、必要規模の確保に努めたいと考えており、利用しやすい駐輪環境の整備に努めていきます。</li> </ul>
----------	---	---

10	<p>○南口駅前広場は狭く、周辺の土地まで拡張するか建物にセットバックしてもらおうなど、抜本的に再整備してほしい。</p> <p>○駅前広場には、佐賀を象徴するシンボルが必要。懐かしくて新しい佐賀のランドマークとして、「グリコの広告塔」を再建してはどうか。</p>	<p>○ 駅前広場の整備は、用地に関する関係者協議の状況や時間的制約なども踏まえ、現在の範囲（面積）の中で機能配置を見直すことにより、人が滞留するための広場空間を確保する計画としたところで。</p> <p>○ 佐賀駅の南側は、佐賀城公園など街の歴史・文化を代表するエリアに繋がっており、南口駅前広場には、街の風土・文化を象徴し、街の顔となる空間づくりが求められているものと考えています。</p> <p>今後の設計段階において、街へ繋がる象徴的なエントランス空間として、駅前広場のデザインに関する検討を進めていきます。</p>
----	--	--